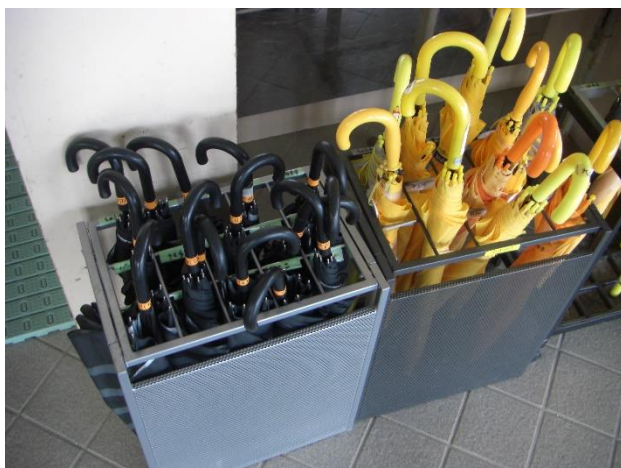


1 学期もあと少し 子どもたちの体調管理と様々な取組

梅雨前線の影響で九州地方を中心に大きな被害が出ています。丹波地域でも、すごく暑い時間帯があるかと思えば、急に激しい雷雨があるなど、天候が気になる日が続いています。6月以降2

度、下校時に雷雨があり時刻を遅らせて下校させるなどの対応をしました。ご家族の方にはメールと防災無線を利用し連絡をさせて頂いたところです。大きなトラブルなく対応できたのは、保護者の皆さんの理解があってとのことと感謝しています。

さて、本校では熱中症対策として登下校時には、「日傘の活用」「ナップザックでの登校」「必要な学習用具のみの持ち帰り」「マスクの着用を控える」などを子どもたちにも話をしています。マスクについては、かなりの児童が教室室内でも取るようになりました。感染症対策としては換気が大事と考えていますので、すべての教室で常時窓を開けて換気の徹底、風





のない日は扇風機を利用し空気の対流を行っています。

また外での学習や遊ぶ際の目安として運動場と体育館に写真のような熱中症指数計を設置し、1時間ごとに測定結果を掲示し、活動する際の判断としています。これまでに嚴重警戒レベルま



で達した日はありませんが、昨年度2学期の運動会練習時に数値が高くなった際は、昼休みの外遊びはしないこととして、かわりに練習の疲れや暑さから体を休めるために給食後「お昼寝タイム」を導入しました。

どの学年もエアコンのきいた教室の中でゆっくり休んでいました。昨年度運動会練習中の体調不良による搬送は1度もなく、こうしたいろんな取組のおかげかと感じています。



今年度も天候をみながら、昨年度同様に子どもたちに一つ一つの取組

の意味を説明しながら行っていきたいと考えています。

ご家庭でも学校からお知らせしたとおりお子さんの体調管理はもちろんのこと、十分な水分の持参などお願いします。水筒の水分がなくなった際は、浄水器を設置していますので、水筒に補充しています。